

第三者評価結果

事業所名：ピッコリーナ

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
<p>【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 事業計画の今年度の重点目標に「利用者さんの選択の権利、意志決定を常に意識した支援を行います」と掲げ、職員は常に自己選択の尊重を意識して支援を行っています。毎日「朝の会」「帰りの会」はグループ毎に利用者と職員が参加して実施しています。職員から今日の予定や仕事の内容確認を行い、給食当番や納品で行きたい所、販売会に参加したいかなど、利用者の希望を聞いて決定しています。プログラムを計画する際も利用者の意見を聞いています。一泊旅行や日帰り旅行は4ヶ所くらいの候補から選んでもらったり、映画会は予め候補の映画紹介をし、アンケートの結果で決めています。お弁当をとる場合も4種類位から選んでもらうなど利用者の自己決定を尊重しています。「帰りの会」では利用者から一日の振り返りを話してもらい、利用者の意見を取り入れた対応をしています。</p>	
A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
<p>【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	a
<p><コメント> 「職員倫理行動綱領」「職員倫理行動マニュアル」「虐待防止マニュアル」が整備されています。法人の新人研修や虐待防止研修などに参加し、職員は権利擁護についての理解を深めています。利用者や家族には利用開始時にサービス利用契約書の中で、「身体拘束の禁止」「虐待防止のための措置」について説明し周知しています。また相模原市障害者支援センター松が丘園主催の虐待に関する外部研修にも参加しています。職員は「人権擁護のためのセルフチェック」を行い、自身の日ごとの行動の振り返りを行っています。職員会議では職員の不適切行為などについて管理者が指導しています。虐待が疑われるような場合は、職員間で内容を共有し関係機関と連携して対応しています。</p>	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
<p>【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	a
<p><コメント> 利用者ひとり一人のアセスメントから、日常生活について自分で出来ること、声掛けで出来ること、一部手伝いが必要、介助が必要など支援する範囲を把握し、自律・自立を意識した個別の支援をしています。箸の袋詰め作業では、治具を使用して工程を分かりやすくする工夫をし、利用者が自分で出来るように支援しています。作業の最終チェックは職員がしますが、殆どの作業は声掛け位で利用者が出来るように職員は見守りの体制でいます。作業の物品の準備から片付け迄も利用者が出来るように置き場所には字や絵を貼って分かりやすくしています。ガイドヘルパーの利用時には職員と一緒に立ち会ったり、成年後見制度の利用に繋げるなど利用者の生活の自立に向けた支援を行っています。</p>	
<p>【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	b
<p><コメント> 発言の不明瞭な利用者には振り返りなどで自分の意思を伝えられるように手作りのツールを作成しています。「がんばった」「つかれた」「楽しかった」「つまらなかった」など本人の気持ちを文字にし、「帰りの会」などで文字を指さし伝えていきます。文字を指さしながら声を出して読んでいくうち、発語が少しずつ明瞭になってきました。聴覚障がい者は「指文字」を使用したり、ジェスチャー、手話、文字などでコミュニケーションを図っています。作業は一緒にしながら行動で伝えていきます。作業室には職員の顔写真が貼ってあり、伝えたい職員を指さして教えてもらっています。意思伝達が困難な利用者はいませんが、理解するための取組は行っていませんが、必要に応じて家族にもコミュニケーションの協力をしてもらっています。</p>	

<p>【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	b
<p><コメント> 利用者が相談したい場合は担当者か管理者が相談室で話を聞いています。他の利用者との関係性で悩んでいたりと、自分の好きなことを話したい利用者もいます。相談の内容によっては、情報提供や助言を行っています。相談内容は「個別記録一覧」に入力しています。「業務日誌」に記録し、職員の「帰りの打ち合わせ」や「朝の打ち合わせ」で報告し、職員間で内容を共有しています。必要に応じて内容を家族やグループホームへ知らせ、連携を取りながら対応することもあります。相談内容は職員間で共有していますが、利用者の意思決定をどこまで汲み取れているか課題です。利用者アンケートでは94%が「相談したり、意見を言いやすい雰囲気」と回答しています。</p>	
<p>【A6】 A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	a
<p><コメント> 個別支援計画には支援目標と支援内容に日中活動の内容が具体的に記載されています。作業内容は利用者のニーズを考慮して決めています。作業にはカフェ、自主製品のハーブティー、ビーズ、ステンシル作り、受注作業の箸の袋詰め、広告にサンプル貼り、マンションの掃除、パソコンで新聞やイベントのちらし作成などがあります。カフェの他に4グループに分かれて作業をしています。グループ分けは主に利用者同士の相性を考慮して行っています。フリープログラムには映画鑑賞会やかき氷を楽しむ会、スポーツレクなどがあり、前もって案内を出し、利用者の希望で選べるようになっています。障がい者支援センター松が丘園主催の利用者向けスポーツ大会、ダンスプログラム、卓球、音楽会などの情報提供をしています。</p>	
<p>【A7】 A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	a
<p><コメント> 大声を出す利用者は相談室などで落ち着くまで様子を見ています。興奮する利用者には看護師が予め預かっている内服薬服用などの対応をしています。行動障害で分からないことがあると不安になる利用者には個別に一日の予定表を作り、トイレや食事などは絵カードを使用して伝えています。利用者同士の人間関係や相性などを考慮して4グループの作業室に分かれています。自閉症で通院している医療機関とは連携を取って対応しています。法人のASD（自閉スペクトラム症）や自閉症研修に支援員が参加し、専門知識の習得に努めています。</p>	
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A8】 A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	a
<p><コメント> 昼食は月曜日から金曜日までは業者に委託し毎回配達してもらっています。盛り付けと配膳は利用者と職員で行っています。減塩食や一口大形態、ご飯少な目の利用者は、トレーに食札を立てて分かるようにしています。食事のメニューからグループ毎にアンケートをとり、美味しかった食事NO.1のハンバーグや唐揚げなどのメニューを発表しています。2ヶ月に1回担当職員と業者の栄養士との会議でNO.1メニューなど利用者の嗜好を伝えています。入浴支援としてはトイレの後の清拭が必要な利用者には毎回実施しています。トイレ介助は同性介助で実施しています。車いすで通所する利用者は事業所内では歩行器や杖使用で移動介助を行っています。</p>	
<p>A-2-(3) 生活環境</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A9】 A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	a
<p><コメント> 掃除専門の職員が週3回、廊下、階段、食堂、トイレなど作業室以外の共有部分の掃除をしています。作業室は毎日作業終了後に利用者と職員で掃除し、職員は主に水回りを掃除して清潔な環境を保っています。朝の打ち合わせ後職員で、作業室内のテーブル、取っ手、手すり、机などをアルコール消毒し、感染防止に努めています。各部屋に空調が設置され、入口、出口は開放し、昼食時は窓なども全開にして換気を行っています。他の利用者と一緒に落ち着ける場所として相談室を利用し、休息や睡眠をとる場合は医務室のベッドやバルコニーの椅子などを使用しています。</p>	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	第三者評価結果
【A10】 A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>車いすで通所している利用者は事業所内で歩行器に変え、トイレや食堂まで歩行器で歩くようにしています。「朝の会」の後にCDを流し、全員でラジオ体操第一をして身体を動かしています。夕方掃除の後に希望者と職員でラジオ体操第一をしています。ダイエットなどで散歩が必要な利用者には、天気の良い日に近くの住宅地周辺を職員が付いてウォーキングしています。雨の日は動画を見てダンスをしたり、身体を動かしています。ウォーキングや歩行の状態は利用者のADL（日常生活動作）と共にモニタリングを行っています。専門職の助言のもとに機能訓練を行っている利用者はいませんが、マッサージを受けている利用者はいます。スポーツレクで体育館や柔道場を借りて走り回ったり身体を動かすプログラムがありますが、コロナ禍で実施できていません。</p>	
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>看護師が毎体温・血圧などのバイタルチェックを行い、健康状態の観察をしています。毎年3月に健康診断を実施し、身長・体重・血圧・視力・心電図・血液・胸部レントゲン・検尿などの検査を行っています。健診結果は看護師から家族に知らせ、家族の相談にのっています。月1回大和市さくらクリニックから嘱託医が来所し、看護師から利用者全員の状態の報告を受け、気になる利用者には個別に話を聞いて指導しています。身体的なことで心配なことがあると、看護師から連絡帳や電話で家族やグループホーム職員などへ連絡しています。精神科へ通院している利用者の通院同行を担当職員が行い主治医の話を聞き、指示を確認しています。緊急時には担当職員と看護師が連携し迅速な対応をしています。新型コロナウイルス対応マニュアルが作成され、対応方法は看護師が指導しています。</p>	
【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
<p><コメント></p> <p>服薬管理を行っている利用者からは1週間分の内服薬を担当職員が預かり、服薬ボックスに月曜日から金曜日に分けて入れて置き、看護師が与薬しています。服用後の空のカプセルや袋は箱に入れて置き、看護師が服薬後の確認をしています。毎日薬を持参する利用者もいます。家族から予め服薬リストをもらい、副作用などの情報を把握しています。透析をしている利用者は週3回は午前中作業し、午後透析を受けています。減塩食を提供し、水分コントロールやプログラムなどは主治医の指示を仰ぎながら行っています。看護師は怪我の処置や爪切り、耳掃除、手浴なども行っています。医療的ケアをしている利用者はいませんが、慢性疾患などの対応については看護師が職員へ指導しています。</p>	
A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>カフェでは利用者がレジで値札剥がしや袋詰めなどを行い、お客様と交流しています。また「いらっしゃいませ」と挨拶をしたりお客様と話をすることもあります。相模原市障作連ハンドメイドショップ「パオバブ」のピッコリーナの販売担当は月7日間で、毎日1名の利用者が販売員として参加し、レジやふくる詰めなどを担当者と一緒に手伝っています。希望する利用者が10名いますので、ローテーションで参加し、地域住民と交流する機会を作っています。下請け作業の箸のセットやチラシなどの納入の手伝いや材料の買い物に地域へ出かける機会があります。障がい者・高齢者向け勉強会に参加し、他事業所の利用者と交流しています。今後は利用者の意向と能力に応じて学習する機会が持てるように支援することが望まれます。</p>	
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>グループホームの空き状況や新しいグループホームの情報を利用者で紹介しています。入所を希望する利用者には体験のショートステイを薦め、初めての場合は職員も一緒に泊まって慣れてもらうように支援しています。相談事業所と連携しながら地域生活への意向を支援しています。グループホームへ入所する場合には今迄の様子を伝え、職員と連携をとりながら移行に繋がっています。家事についてのアドバイスをしたり現金の支払いが苦手な利用者にはスイカカードの利用を体験するなど地域での生活が出来るように支援をしています。利用者が参加できるような地域の勉強会などの情報を掲示し提供しています。</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<コメント> 連絡帳で家族やグループホームと連絡をとっています。連絡帳の内容を作業グループの職員が確認し、食欲がない、興奮状態など家庭での変わった様子などを把握して対応しています。事業所で体調を崩したり、利用者同士でトラブルがあった場合は電話や連絡帳で、担当職員が家族やグループホーム職員へ連絡しています。プログラムの案内やピッコリーナ新聞で事業所の活動状況などを利用者と家族にも知らせています。個別支援計画を作成する際に家族面談を行っています。コロナ禍の為電話で意見を聞いています。家族懇談会を年3~4回開催していますが、コロナ禍で人数も10人に限定し1回しか開催されませんでした。事業所からの報告や家族からの要望の聴取、家族同士の意見交換など交流ができました。	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	第三者評価結果
【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント> 障害児施設でないため評価外	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 就労支援施設ではないため評価外	
【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	
<コメント> 就労支援施設ではないため評価外	
【A19】 A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント> 就労支援施設ではないため評価外	